

2017年9月28日

国際ロータリー第2740地区
ガバナー 駒井 英基 様

国際ロータリー第2700地区
ガバナー 安増 惇夫

九州北部豪雨災害義捐金につきましての御礼とご報告

2017年7月5日～6日に、九州北部を襲いました「平成29年7月九州北部豪雨災害」により、被災地では地域の社会インフラや緑豊かな自然を大きく破壊するなど、生活基盤を喪失する甚大な被害をもたらす未曾有の災害となりました。

その被災にあたり、同期の全国のガバナーの皆様から、支援のお申し出が相次ぎましたので、全国33のガバナー各位にガバナーのご判断にお任せすることとさせていただいて、義捐金をお願いを申しあげましたところ、全国のロータリアンの皆さま方から、思いもよらない多額の義捐金をお寄せいただきました。

被災された方々へロータリアンが寄せる互譲互助の心情を痛感し、ロータリーの信条を改めて実感させていただくと共に、皆様の温かいお心遣いに胸が熱くなり感謝の言葉しかございません、衷心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

皆様方の御厚志は、9月11日(月曜日)に、病気加療中の福岡県知事の代行を務めておられる服部誠太郎副知事に、この義捐金(総額81,792,679円)に託す全国のロータリアンの心と共に寄託してまいりましたのでご報告申し上げます。

今回の豪雨により被災された皆様は、漸く再起への一步を踏み出し本格的な復興の緒に就いたばかりで、今なお多くの方が仮設住宅に住まわれる等不便な生活を余儀なくされております。

皆様方よりお寄せいただきました浄財は、被災地復興へ寄せる切なる願いとして、被災された方々への大きな力添えになるものと確信いたしております。

末筆となりましたが、此の度の被災者支援のお願いに際し、諸事ご繁多の中、地区内ロータリークラブのお取り纏めをいただく等、種々お骨折りとお力添えを賜り誠にありがとうございました。重ねて厚く御礼申し上げますと共に、ご支援賜りました皆様方へ何卒宜しくご鳳声賜りますようお願いいたします。

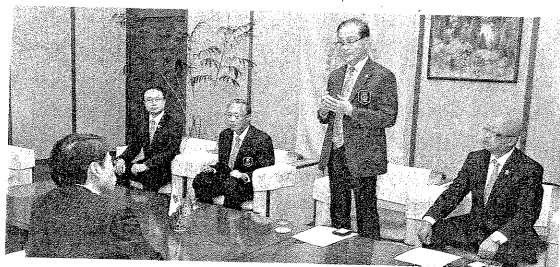
本来なれば早速参上し御礼申し上げるべきところではございますが、略儀ながら書中をもちまして御礼のご挨拶に代えさせていただきます。

義援金7680万円を県に寄託

国際ロータリー
第2700地区

九州北部を襲った豪雨災害で、県内と佐賀県鳥栖市などのロータリークラブで構成する「国際ロータリー第2700地区」は11日、全国のロータリークラブ会員からの義援金約7680万円を福岡県に寄託した。

同地区の安増惇夫ガバナー（宗像ロータリークラブ所屬）が、地区内の会員や全国各地のガバナーに支援を呼びかけたところ、8日までに地区内から約570万円、全国28



地区から約7110万円が寄せられた。

安増ガバナーは「少しでもお役に立てば」と、服部誠太郎副知事に目録を贈呈。副知事は、被災者が生活を再建し、事業を再開するには資金が必要で、本当にありがたい。皆さんのお気持ちとともに、被災者にお届けします」と語った。

▲ 服部副知事（左）に義援金募集の経緯などを説明する安増ガバナー（右から2人目）

全国のRCが義援金九州豪雨で県に寄託

県内を中心とした各地域のロータリークラブ（RC）でつくる国際ロータリー第2700地区の代表である安増惇夫ガバナー（宗像RC所屬）らが11日、県庁を訪れ、全国のRC会員から寄せられた九州豪雨被災地への義援金約7600万円の目録を服部誠太郎副知事に手渡した。

安増ガバナーは「全国のほとんどの地区が募金に参加してくれた。少しでも役に立てばありがたい」と述べた。